

令和 5 年度
(2023 年度)

自己点検・評価報告書

令和 5 年(2023 年) 4 月 1 日から
令和 6 年(2024 年) 3 月 31 日まで

令和 6 年(2024 年)4 月 26 日

学校法人吉田学園
吉田学園動物看護専門学校

■令和5年度 自己点検・評価について

〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たすため、校訓や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について検証し現状の把握・認識したうえで、学校関係者への報告を実施してガバナンスの改善を行い、組織的に健全な学校運営を継続することを目的に実施する。

1. 対象期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日

2. 委員会開催

第1回 令和6年 4月 23日

第2回 令和6年 4月 26日

3. 実施方法

(1) 実施組織： 自己点検・評価委員会

委員長： 滝本 玲 吉田学園動物看護専門学校 校長

委員： 古久保 英樹 吉田学園動物看護専門学校 学科長

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠しています。

(3) 評価方法：学則、教務内規、学習のしおりや学生便覧に記載されている校訓や指導規定などと照らして各種評価を行い、自己点検・評価委員会を開催し、学校として自己点検・評価を取り纏めています。

4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価しました。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) それぞれの評価項目のうち評価3以下のものについての状況と課題、対策について報告いたします。

1 学校の教育目標

校訓 「動物愛護」 命の重さに一途一心

愛玩動物看護師学科

「動物医療の現場を支えるプロとしての愛玩動物看護師を養成」

どうぶつを医療・看護、健康面から支える知識・技術の修得はもちろんどうぶつの状態、飼い主さまの気持ちを理解し、適切な対応ができる愛玩動物看護師を目指す。

トリマー学科

「あらゆる犬種に対応できる動物美容のスペシャリストを養成」

2年間の学習で、現場に出て活躍するために必要な高いレベルの技術やどうぶつの健康についての知識、飼い主さまとの接し方などを身につけ、信頼されるトリマーを目指す。

トリマー専攻科

「1年間でどうぶつの「キレイ」と「健康」を支えるプロに！」

1年間の短期集中で現場に通用する高いレベルの技術、どうぶつの健康についての知識、飼い主さまとの接し方なども学び、どうぶつの「キレイ」と「健康」を支えるトリマーを目指す。

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

● 入学者目標

➤ オープンキャンパス参加者の出願率向上

オープンキャンパス参加者からの出願率 60%を目標とし、参加者個々人が重視するポイントを把握することで、オーダーメイド型の対応を実施する。具体的には、教員は各々の専攻分野についての体験の機会を提供し、学生スタッフはそのサポート役を正しく担うこととする。

➤ 入学相談室との連携強化

学生募集担当部署である入学相談部との連携を強化し、相互の活動について理解を深め、有効な募集手法を検討・実施する。

➤ 情報発信の強化

SNS 等を利用したタイムリーな情報発信に努め、高校への渉外活動と学生個人へのアプローチを両立させる。

● 在籍率維持目標

➤ 組織的対応の強化

在籍率の維持・向上に向けて、教員による面談を強化すると同時に、保護者や高校教諭との連携も強化する。また、学内でのイベントの充実等、面談以外の学生との接点拡大し、休退学傾向にある学生の早期把握に努める。

➤ 学生生活の充実

年間イベントの充実を図り、学生間のコミュニケーションの拡大のための環境整備を行う、

- 就職率目標
 - 組織的対応の強化と、就職支援の充実
就職担当教員とクラス担任との連携を強化し、就職に関するノウハウを共有する。
また、学内システムを活用し、学生に対して求人情報の早期周知を図るほか、個別指導の徹底、学外実習棟で学生の就職意欲向上を図る。
- 資格取得率目標
 - 教員間での情報共有と、学生の習熟度に応じた補講を早期に実施し、試験対策を徹底するとともに、学習に対するモチベーションの継続を図る。
- 多様な学生の受入環境及び学習支援環境の整備
 - 多様性への理解を深め、受入れ環境整備のため年間を通じた勉強会を実施する。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(1)-1	学校の理念・目的・育成する人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
(1)-2	学校における職業教育の特色は何か	4
(1)-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
(1)-4	学校の理念・目的・育成する人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
(1)-5	学校の教育目標、育成する人材像は、学校に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
(2)-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
(2)-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
(2)-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
(2)-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4
(2)-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
(2)-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
(2)-7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
(2)-8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(3) 教育活動

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(3)-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
(3)-2	教育理念、育成する人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
(3)-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
(3)-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
(3)-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
(3)-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
(3)-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
(3)-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
(3)-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
(3)-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
(3)-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
(3)-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
(3)-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
(3)-14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(4) 学修成果

評 価 項 目	適 切…4
	ほほ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(4)-1 就職率の向上が図られているか	4
(4)-2 資格取得率の向上が図られているか	4
(4)-3 退学率の低減が図られているか	3
(4)-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
(4)-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

2022年度のトリマー学科廃科と、動物看護学科の学科変更によりやむを得ず退学となった学生が数名出た。

(5) 学生支援

評 価 項 目		適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(5)-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
(5)-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
(5)-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
(5)-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
(5)-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
(5)-6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
(5)-7	保護者と適切に連携しているか	4
(5)-8	卒業生への支援体制はあるか	4
(5)-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
(5)-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(6)教育環境

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(6)-1 施設・設備・図書は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
(6)-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
(6)-3 防災に対する体制は整備されているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(7)学生の受入れ募集

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(7)-1 学生募集活動は、適正に行われているか	3
(7)-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
(7)-3 納付金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・(7)-1 …… 当初に掲げた活動入学者目標(入学者数、オープンキャンパスからの出願数)に対し、各種施策を実施したが結果に表れなかった。

② 今後の改善方策

- ・(7)-1 …… 本校の特色である「動物愛護」の校訓をしっかりと打ち出すことや、ペット防災や動物の栄養学など他校との違いをアピールしていく。
また市内の動物病院の協力を仰ぎ、入学対象者にとって魅力あるオープンキャンパスを企画する。

③ 特記事項

(8)財務

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(8)-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
(8)-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
(8)-3 財務について会計監査が適正に行われている	4
(8)-4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

- ・(8)-1 … 入学生の定員確保
在籍率の向上

② 今後の改善方策

- ・(8)-1 … トリマー学科とトリマー専攻科の閉科に伴い、講師見直しや備品・消耗品の削減を実施する
愛玩動物看護師学科定員 30 名確保に向けた取組みとして、本校の校訓「動物愛護」をしっかりと訴求し、ペット防災や動物に関する栄養学等、他校に対する優位性をピーアールしていく。
休退学者ゼロを目指して、タスクを細分化した授業展開(スモールステップ)を行い、愛玩動物看護師資格へのモチベーションの維持、向上を目指す。
また、長期休暇明けに学内イベントを実施することで、学業以外のコミュニケーション機会を設ける。

③ 特記事項

(9)法令等の遵守

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(9)-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
(9)-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
(9)-3 自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
(9)-4 自己点検・評価結果を公開しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(10)社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(10)-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
(10)-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
(10)-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

(11)国際交流

評 価 項 目	適 切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不 適 切…1
(11)-1 留学生の受入れについて戦略を持って行っているか	4
(11)-2 留学生の受入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
(11)-3 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
(11)-4 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項

総 括

教員の勉強会・研修について

北海道私立学校各種学校連合会動物部会が実施する研修会に、学校単位で参加した。

また、動物看護、トリマーの学科の担当者が、オンラインセミナー参加で得た知見を業務に生かすことで、業務環境の改善・工夫が出来た。教育力向上のため、勉強会・研修会の定着に向け継続する。

新設学科「愛玩動物看護師学科」初年度がスタートし、あらためて教育課程の見直しを行なった。3ポリシーと教育活動との関連性を明確にして、教員間で相互理解を図ることができた。新学科の充実に向け、更なる協議機会を設け、計画的に取り組みたい。

資格取得について

第2回の愛玩動物看護師国家試験では、1名の不合格者が出たため 合格率 94.7% (18/19) となった。また、愛玩動物飼養管理士 1 級 同 86.2% (25/29)、サロントリマー検定 1 級 同 88.8% (8/9) という結果となった。次年度は愛玩動物看護師学科が最終学年ではないため、国家試験受験対象者はいないが、それぞれの学年、学科が目指す検定の 100%合格を目指したい。

在籍率について

組織的対応の強化、休退学傾向学生の早期把握、学生生活の充実など、可能な限り当初たてた対策を実施し対応してきたが、学内指導の範囲を超える状況が多く、目標としていた数字には至らなかった。

就職指導について

希望者に対して 100% (28/28) の就職決定となった。個別指導の徹底で、一般職へ切り替わる学生へも迅速に対応し内定へと導くことができた。

財務基盤の安定について

オープンキャンパス参加者からの出願率は 35%と目標には大きく届かなかった。しかし前年度トリマー学科募集停止したにもかかわらず、愛玩動物看護師学科と専攻科の入学者数はどちらも増加し、全体で昨年比プラスとなった。オープンキャンパス担当教員を従来の全員参加型から固定メンバー型に変更し、卒業生の関わり方も、従来の学科教員補助業務から、現役動物看護師の強みを生かした体験授業の実施に変更した。SNS は発信数も増え、内容も写真から動画を増やすことで、学校の雰囲気がより伝わり、入学者数も微増した。

以上